



中国での基本口座の変更について

北陸銀行 国際部
大連駐在員事務所
金春梅

1. はじめに

当事務所では日系の銀行を利用しておりましたが、その日系銀行は、現金の取扱件数が年々減少する中で現金業務に関するリスクや事務負担を軽減するため、人民元及び外貨を含む現金業務を2021年3月末で停止することになりました。中国において、現金業務は基本口座(メインバンク)でしか行うことができないため、この機会にローカルの中国銀行^(※)に切り替えることにしました。今回は、口座切り替えの手続き方法についてご紹介いたします。ご参考になれば幸いです。

^(※)中国銀行は、中国四大銀行の一つであり、総資産額で世界第4位です。
当行は1972年に日本の地方銀行で初めて中国銀行とコルレス契約を締結しています。

2. 中国銀行大連支店について

中国銀行大連支店は、元々横浜正金銀行大連支店があった大連市中心部の中山広場に位置しています。ヨーロッパのルネッサンス後期の建築スタイルで建てられており、遼寧省の保護文化財、大連市の重点保護建築でもあります。



【中国銀行大連支店(大連中山広場):筆者撮影】

中国銀行大連支店に入ると、入口にある人工知能ロボット「小麗(ショウレイ)」が出迎えてくれます。私が訪問した日は大変残念ながら故障のため作動していませんでしたが、普段はお客様が近くと用件を伺い、その質問にお答えする他、その業務のカウンターまで案内もしてくれるそうです。

入口カウンターの近くには大きな体温表示モニターが設置されました。お客様が入る度に顔や体温がモニター画面の下側に表示されるので警備員がより簡単に体温をチェックすることができます。また、お客様の待合席に「コロナ期間中は一つ置きにお座りください」と書いた紙が大きく貼ってあり、コロナ対策もしっかり行われていました。



【上写真: 知能ロボット「小麗(ショウレイ)」のお出迎え】
【左写真: コロナ感染防止対策のために設けられた
体温表示モニターや隔席利用の座席】

2階のロビーには、企業向けの「取引明細の電子保管箱(レシート電子ボックス)」が設置されています。「レシート電子ボックス」は、銀行内に設置された専用機械であり、専用ICカードを使って各種取引明細や利息計算書などをセルフサービスで検索や印刷ができます。以前はほとんどの企業が「レシート電子ボックス」を利用していましたが、近年ネットバンキングの普及により利用率はだんだん低下していると銀行の方から教えていただきました。



【取引明細の電子保管箱
(レシート電子ボックス)】

3. 口座開設の手続きについて

(1) 口座開設前の予備審査

中国銀行では、2020年6月から中央銀行である中国人民銀行の指示により、法人の口座開設手続きを厳格化し、事前の予備審査を行うことになっています。

その準備作業として、「登記証」、「貸借契約書」、「不動産証明書」、「現在事項証明書」の謄本(写し)などの書類の事前提出が必要です。さらに、事務所に看板がかかっていること、事務所長が現在大連に駐在しているかどうかについても確認されます。これらの条件がすべて揃った上で、ようやく予備審査の予約ができます。

予備審査には2名の行員が来所し、事務所の入口やフロアの看板、ビルの番地など色々な写真を撮影し、スマートフォンで中国銀行の専門システムにアップしていました。写真撮影には中国銀行の行員と当事務所のメンバーが必ず写るように何度も調整していました。

また、「中国銀行の顧客に対するデューデリジェンス、コンプライアンス制裁に関するアンケート」も配られ、北朝鮮、イラン、シリア、キューバ、ロシアの特定地域などとの取引があるかどうかに関する項目が多く書かれていました。10年前、日系の銀行で口座開設した時には、こうした書類提出は一切ありませんでした。

(2) 口座開設の本審査（銀行窓口での手続き）について

予備審査が終わると、本審査を受けることとなります。本審査には、法人代表者と財務担当者が一緒に銀行窓口へ出向きます。窓口では、「登記証」、「貸借契約書」、「不動産証明書」、前口座の解約書類、パスポート、担当者の身分証明書など全ての原本を提出し、会社の「公印」、「財務印」、「法人代表者印」などの印鑑も全部持参します。

書類作成が一段落すると、今度は法人代表者(所長)に対して本人確認のため写真撮影とビデオ撮影が行われます。ビデオ撮影には、窓口担当者のほかに、管理者1名が同席します。ここでは、「法人が銀行決算口座を開設する際の通信ネットワークの新型違法犯罪法律責任に関する参考内容の告知」について銀行の担当者が内容を読み上げ、法人代表者が内容を理解したら署名します。

4. おわりに

この度、当事務所の銀行口座切替えをきっかけに、基本口座の変更手続きについて紹介させていただきました。日本では、メインバンクとそれ以外の銀行との間で取り扱える銀行業務自体に違いがほとんどなく、どの口座からも現金取引ができると聞きます。しかし、中国では基本口座と一般口座は大きく異なります。

基本口座は、預金者が日常的な振替決済と現金受取を行う口座であり、給料やボーナスの受取、現金の支出は基本預金口座を通じてしかできません。一般口座とは、預金者が借入金またはその他の決済のために、基本預金口座開設銀行以外の銀行で開設した決済用口座のことです。

企業にとって基本口座は一つしか持てませんが、一般口座は複数開設することができます。ただし、一般口座は振替しかできません。口座開設の順番は、まず基本口座を開設してから、必要に応じて一般口座を開設します。当事務所のように営業収入が発生しない事務所は、基本口座のみで、一般口座を開設しない場合もあります。さらに、開設審査に関して、基本口座の開設は中国人民銀行が最終審査を行います。一般口座は、開設銀行自らが審査を行うので中国人民銀行に書類を送付する必要がなく、手続きが比較的簡単です。どうぞご参考になさってください。

今後も中国の金融・経済情報を日本の皆様と共有し、お取引先の中国での業務展開や販路拡大などにお役に立てるように努めて参りたいと思います。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp